

# DATSUN BLUEBIRD

## SSS COUPE

### SSS



～お手本になる運転を あなたから～

このたびは“ダットサン ブルーバード”をお買い上げいただき、  
厚くお礼申し上げます

お選びいただきました“ダットサン ブルーバード SSS”は日産自動車が最新の設備と優秀な技術陣を結集し、心をこめて製作いたしましたものであります。

世界最大の過酷なラフ ロードと知られておりますサファリ ラリーの優勝でその性能は立証されましたように国際水準のトップ レベルに行くスーパースポーツ セダンとして必ずやご満足いただけるものと確信いたしております。

本書はダットサン ブルーバード SSSおよびクーペ SSSの正しい取扱方と、簡単な点検手入れについてまとめました。定期点検整備のご励行と併せて、お車の安全と性能を十分に発揮していただくためにご利用ください。

このほか、お車の取扱いについての一般的なこと、基礎的なことを別冊「自動車の上手な使い方」でご説明いたしておりますので併せてご利用ください。

ご質問や、定期点検整備などにつきましては、日産販売店およびサービス工場にご用命ください。

日 産 自 動 車 株 式 会 社



ダットサン ブルーバード 1600 SSS



ダットサン ブルーバード 1600 SSS クーペ



～みんなの幸せは 車のある生活と  
安全な運転から～



# 目 次

車両外観各部の名称	1
各部の取扱い	2
キーの用法	2
ド          ア	6
運転装置	8
計器盤	13
室内各部の取扱い	17
換気、暖房	22
その他の取扱い	24
オプション（注文）部品について	25
新車時の運転	29
日常の運転速度	29
エンジンルーム各部の名称	30
日常点検	31
給油、給水	36
タイヤの交換	37
上手な運転法	40
主要諸元	47
明細諸元	49
点検調整値	51
エンジン、シャシ番号打刻位置	52

～運転は せりあいよりも ゆずりあい～

## 車両外観各部の名称



- ① アンテナ
- ② ワイパ ブレード
- ③ フード
- ④ กระจก ミラー
- ⑤ ヘッド ランプ
- ⑥ フュエル フィル リッド

- ⑦ ドア ハンドル
- ⑧ ホイール カバー
- ⑨ サイド フラッシュ ランプ
- ⑩ バンパ
- ⑪ ターン シグナル・クリアランス/パーキング ランプ
- ⑫ ラジエータ グリル



- ① リヤ コータ グリル
- ② トランク リッド
- ③ トランク ロック シリンダ
- ④ リヤ グラル
- ⑤ バンパ

- ⑥ テール・ストップ・ターン シグナル/パーキング ランプ
- ⑦ กระจก アップ ランプ
- ⑧ ライセンス ランプ
- ⑨ オーバ ライダ

# 各部の取扱い

## キーの使用方法



日常は各1本のキーをお使いになり



他のキーは万一の紛失に備えて別に保管ください。





## イグニツション スタータ

**GARAGE** ……ステアリングを施錠する必要  
(ガレージ)

のないときに、この位置をご  
使用ください。この位置では  
ライトおよびホーンだけ作動  
します。

**ACC** ……エンジンをつめたままで、ラ  
(アクセサリ)

ジオ、ヒータ、ワイパ、ウオ  
ツシャ等を使用するときは、この位置にしておきます。

**ON** ……走行中のキーの位置です。駐車するときに「ON」に入れたままにしま  
(オン)

いよう注意してください。

**START** ……エンジンを始動するとき使用します。始動後は直ちにキーから手を離し  
(スタート)

てください。キーは自動的に「ON」の位置に戻ります。

**LOCK** ……ステアリング ハンドルの回転を固定する位置です。  
(ロック)

操作は次の要領で行なってください。

### 1. 施錠 (ロックする) 方法

- ハンドルをほぼ直進の位置 (下の写真位置) にしておきます。
- キーを反時計方向「ロック」の位置まで回し、キーを抜きます。

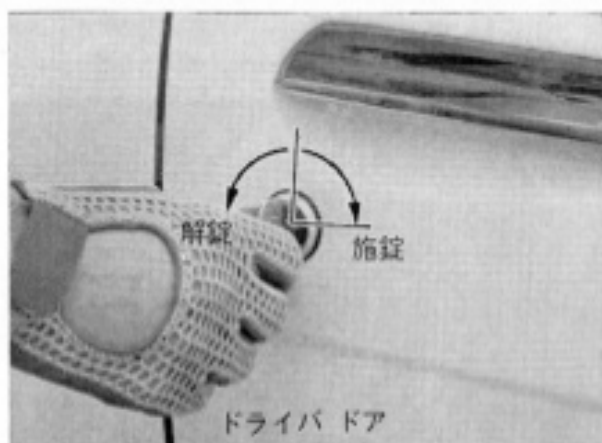
「キーを抜かないとロックしません」



### 2. 解錠する方法

- キーを差し込み、時計方向に回すとロックがはずれます。

注：解錠する場合、もしキーを回すことが固くて困難な場合はハンドルを少し左右に振りながら行なうと容易に操作できます。



## フロント ドア ロック

左右のドア共キーを差し込み、車両の前方向に回すとロック（施錠）し、後方向に回すとロックがはずれます。いずれの場合もキーは元の位置に戻して抜き取ってください。

なお、ロックの確認は内側のドア ロック ノブが連動しますので確認できます。

◇ロックの場合……内側ノブが下がる。 ◇解錠の場合……内側ノブが上がる。

## フュエル フィラ リツド

キーを差し込み反時計方向へ回すとロックがはずれます。

給油後はキーを差し込んだままリツドを閉め、キーを反対に回してロックします。

燃料はハイオクタン ガソリンをご使用ください。

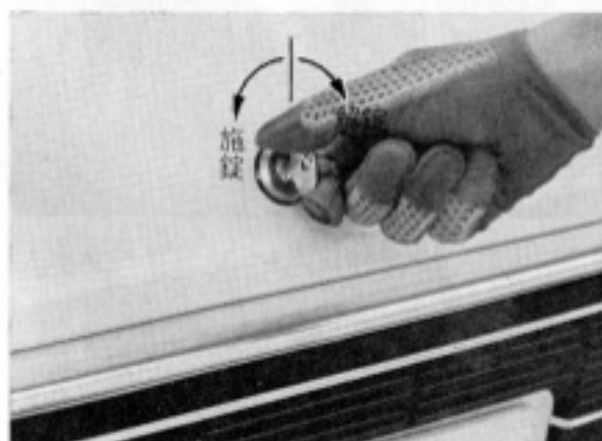


## トランク リツド

キーを差し込み、時計方向に回すとロックがはずれ、自動的に トランク リツドが開きます。

リツドは、しめると自動的に施錠しますのでキーの操作は不要です。

〔注意〕 キーをトランク ルームの中に置き 忘れないよう注意しましょう。



## グローブ ボックス

キー溝が縦向きときはロックがはずれておりますので、ボタンを押せばボックスは開きます。ロックするときはキーを差し込み、右に回します。



“盗難防止のため、駐車の際は施錠を確認しましょう。”

① 各ドア ガラスを確実にしめる。



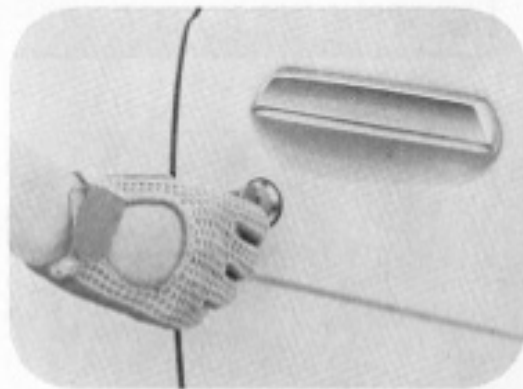
② 左右リヤ ドア ロック ノブを押す。(SSS)



③ アシスタント ドアのロック ノブを押す。



④ ドライバ ドアをキーで施錠する。



“各ドア共ロック ノブが下がっていることを確認しましょう。”



## フロント ドア ロック

### —車外から—

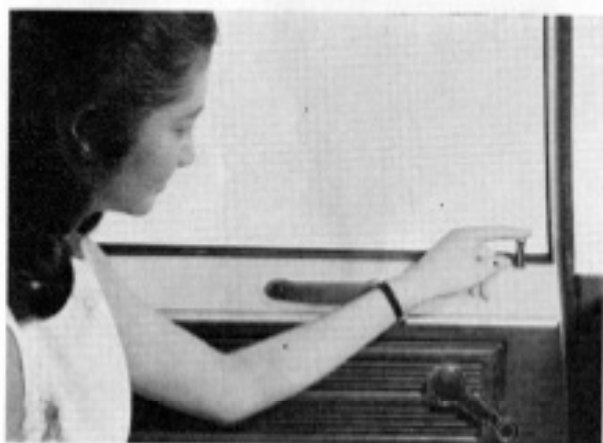
キーの取扱いの項を（4頁）参照ください。

### —車内から—

ロック ノブを押し下げるかドア ハンドルを前に倒せば施錠されます。

解錠するときは、ロック ノブを引き上げます。

〔注意〕 ロック ノブが下がっているときは、ドア ハンドルを操作してもドアは開きません。なおフロント ドアは、ドアを閉めた状態でなければ施錠されません



## リヤ ドア ロック

### セダン SSSについて

車内からは、ロック ノブを押し下げればロックできます。

車外からは、ドアを開きロック ノブを押し下げてからドアを閉めるとロックできます。

ドアを開けるときはロック ノブを引き上げてからドア ハンドルを操作します。

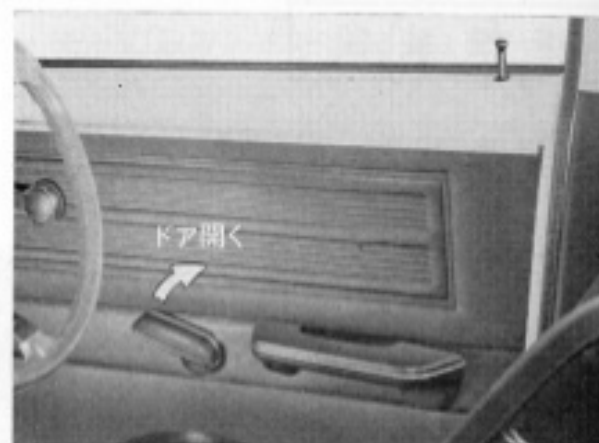
走行中、各ドアは安全のため必ずロック ノブを押ししておきましょう。



## ドアおよびドア ガラスの開閉

施錠されていないドアは、外側からプル ハンドルを引いて開きます。

内側からはロック ノブを引き上げ、ドア  
ハンドルを引き上げて開きます。



## ドア ガラスの開閉

### —フロント—

レギュレータ ハンドルを回すことによりガ  
ラスは上下に開閉します。

### —リヤ—

セダン SSSはフロントと同じレギュレー  
タ ハンドルで開閉します。

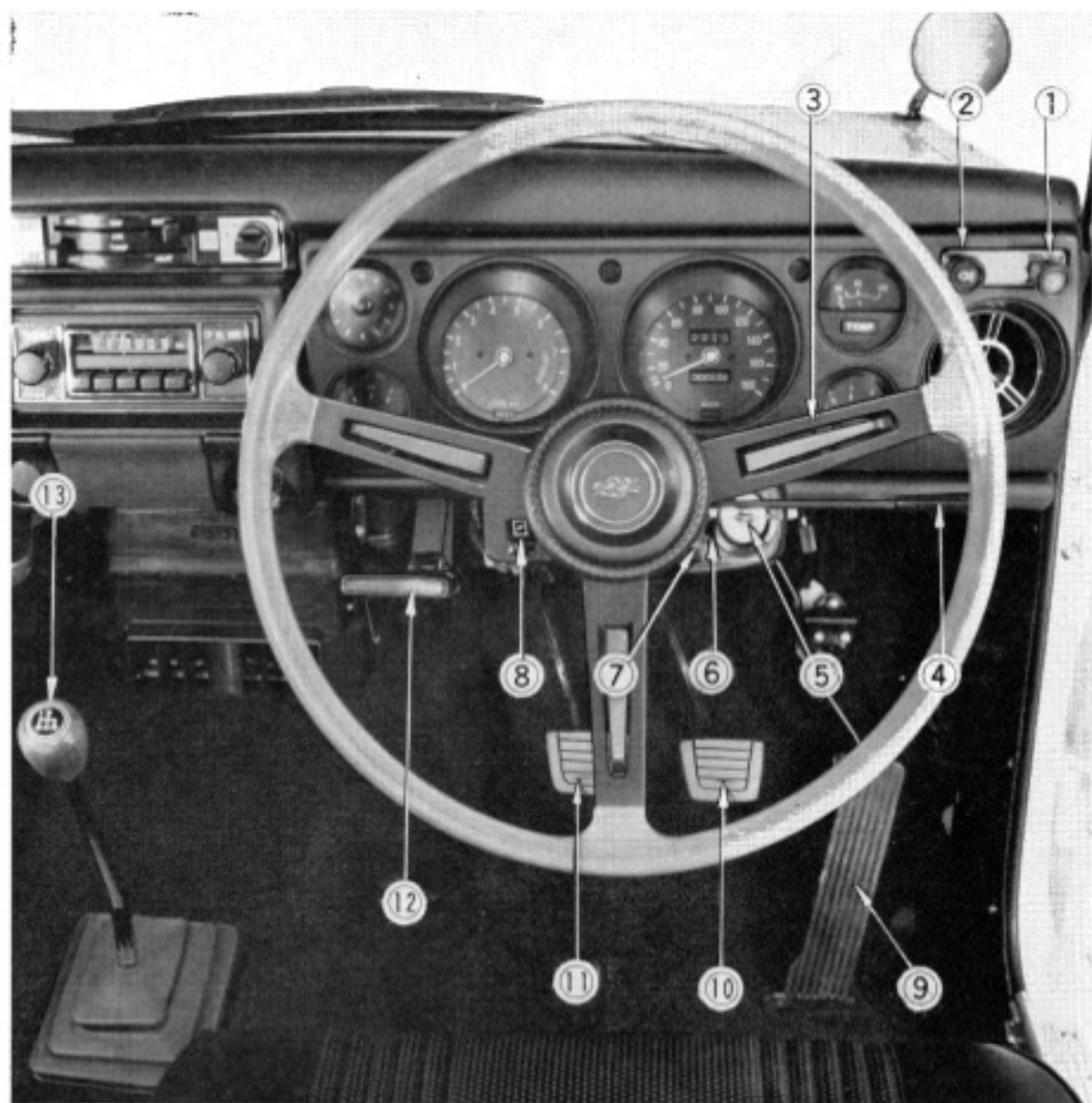


クーペ SSSはブル ハンドルを手前に引  
きドア ガラスを押すとガラスの後部が開き  
ます。閉めるときはウインドウを閉じ、ブル  
ハンドルを後方に回すとロックします。



～誇るなら スピードよりも 安全を～



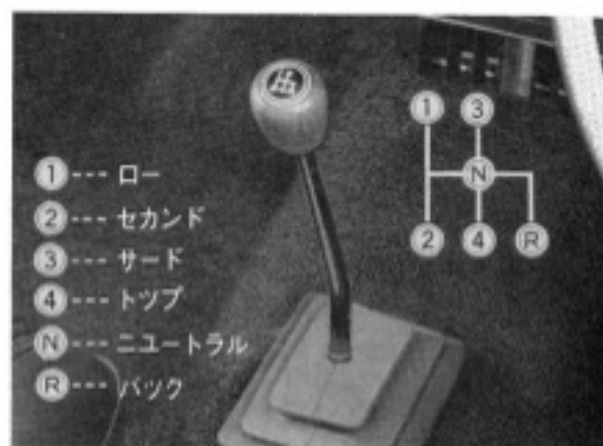


- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| ① ワイパ ウオツシヤ スイッチ   | ⑧ チョーク ボタン     |
| ② ライティング スイッチ      | ⑨ アクセル ペダル     |
| ③ ホーン プツシユ         | ⑩ ブレーキ ペダル     |
| ④ ターンシグナル・デイマ スイッチ | ⑪ クラッチ ペダル     |
| ⑤ イグニツシヨシ スイッチ     | ⑫ ハンド ブレーキ レバー |
| ⑥ 4ウエイ フラツシヤ スイッチ  | ⑬ ギヤ シフト レバー   |
| ⑦ パーキング ライト スイッチ   |                |

## ギヤ シフト レバー

フロア シフト方式で前進4段、後退1段です。前進ギヤは、すべてシンクロメツシユ式ですから操作は容易です。

操作はクラッチ ペダルを十分に踏み込んで行ない、適切なシフト位置（29頁参照）で運転しましょう。



## チヨーク ボタン

ボタンを引くとエンジンの吸入混合気が濃くなり、寒冷時の始動を容易にします。

- ① 気温に合わせ、このボタンを引きエンジンを始動します。（寒い時は一杯に引く）
- ② エンジンが始動したら、暖機状態に合わせてボタンを戻していきます。



暖機が終わったら、ボタンは必ず戻しておきましょう。  
ボタンを引いたままの走行は、出力、燃費に悪影響を及ぼします。

## ハンド ブレーキ

手前に一杯引くと後2輪にブレーキがかかります。

戻すときは、レバーを左に90°回します。

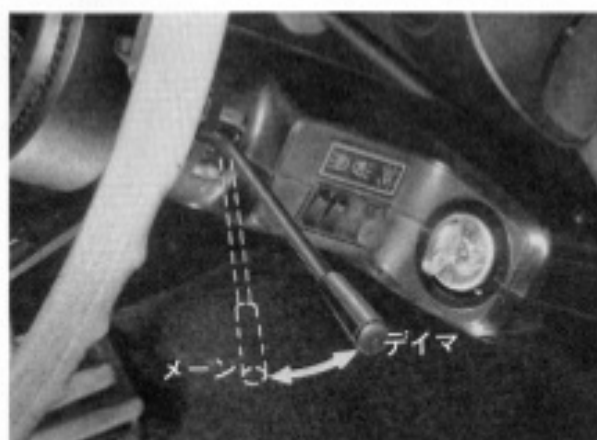
なお、ハンドブレーキが効いているときにイグニツション スイツチをONにすると計器盤スピードメータ左上のブレーキ警告灯が点灯します。

発進の際は、必ずランプの消灯を確認してください。



## ライティング スイッチ・デイマ スイッチ

ライティング スイッチは2段切換式で、1段目で、テール、ライセンス、コンビネーションメータ、クリアランスの各ランプが点灯します。2段目では、それに加えてヘッドランプが点灯します。



なお、ヘッドランプは、デイマスイッチとの組み合わせにより、下図のように点灯し、メインビームのときだけ、スピードメータのメインビームパイロットランプが点灯します。

ライティング スイッチ	デイマ スイッチ レバー	ランプ 点灯 状態
<p>OFF 1段目</p>	<p>クリアランス デイマ</p>	<p>クリアランス</p>
<p>2段目 1段目 OFF</p>	<p>メイン デイマ</p>	<p>デイマ</p>
<p>2段目 1段目 OFF</p>	<p>メイン デイマ</p>	<p>メイン</p>



## ターンシグナル スイッチ

左折のときは上方に、右折のときは下方にレバーを操作すると、ターンシグナル ランプが点滅します。確認はターンシグナル バイロット ランプの点滅で行ないます。

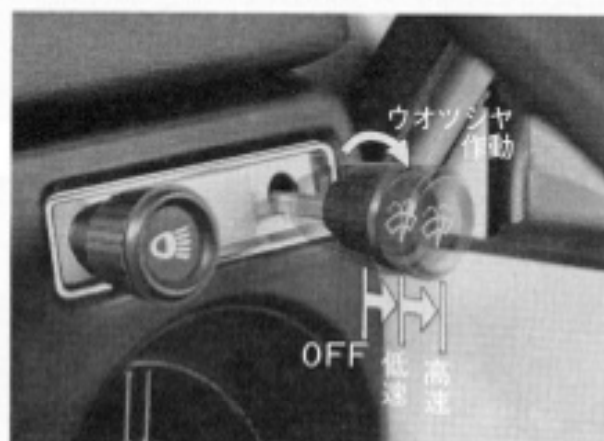
レバーはハンドルを戻すと自動的に中間位置に戻ります。



## ワイパ、ウインドウ ウオツシヤ スイッチ

ワイパ スイッチは高速、低速の2段切換になつております。降雨の状況により使い分けてください。なお、ノブはどの位置でも右に回すと電動ポンプによりウオツシヤ液が噴出します。＝空ふきはガラスにキズをつけますから止めましょう＝

ウオツシヤ タンクはエンジン ルームにありますので必要に応じ純正ウオツシヤ液を補充してください。＝液のないままモータを空転させないでください＝



## 4ウェイ フラツシヤ スイッチ

このスイッチは道路上における故障等、緊急停止時の事故防止のため車両の全ターンシグナル ランプを同時に点滅するものです。

故障等で使用する場合は、このスイッチ ノブを手前に引いてください。この場合、計器盤のターンシグナル バイロット ランプの左右が同時に連動して点滅します。

なお、非常用以外に使うことは後続車に迷惑になりますから止めましょう。





## パーキング ライト スイッチ

このスイッチの・マーク側を押すとパーキング ライトが点灯します。

上方のスイッチが左側、下方が右側用です。必要に応じ全灯点灯するときは上下のスイッチを押してください。

夜間暗い道路上に駐車される場合には追突防止のため必ず点灯しておきましょう。



全灯点灯



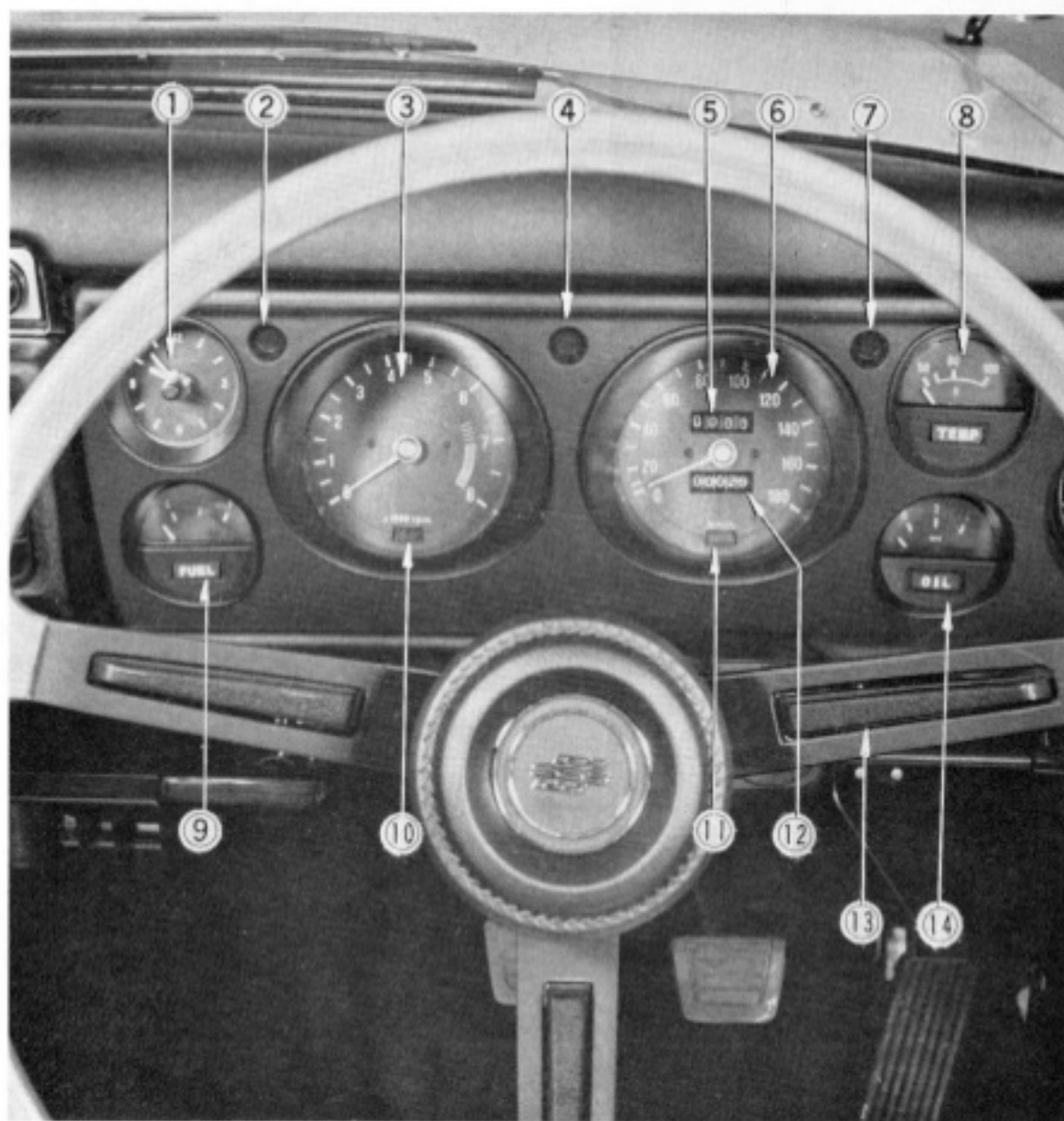
左側点灯



右側点灯



# 計器盤



- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| ① 時計                  | ⑧ 水温計               |
| ② ターンシグナル パイロット ランプ 左 | ⑨ 燃料計               |
| ③ タコメータ               | ⑩ イグニッション警告灯        |
| ④ ハンド ブレーキ警告灯         | ⑪ メーン ビーム パイロット ランプ |
| ⑤ トリップ メータ            | ⑫ オドメータ             |
| ⑥ スピードメータ             | ⑬ トリップ メータ リセット ノブ  |
| ⑦ ターンシグナル パイロット ランプ 右 | ⑭ 油圧計               |

## スピードメータ (速度計)

車の速度を時速で示します。



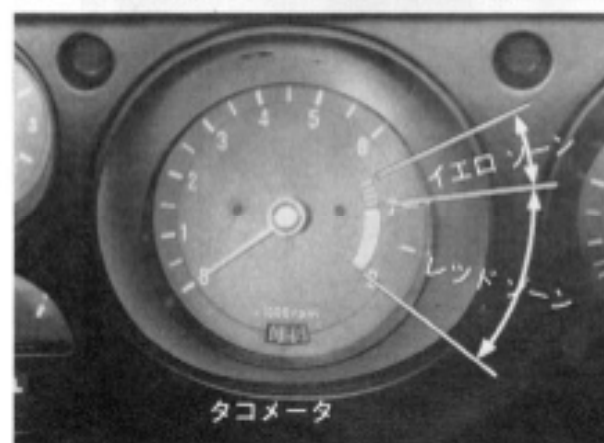
## オドメータ (積算距離計)

あなたのお車の全走行距離を km 単位で記録します。愛車整備手帳にご案内の定期点検整備および給油は、このメータの指示距離によって日産指定のサービス工場にお申しつけください。



## トリップメータ (区間距離計)

オドメータと同じく走行距離を積算していますが、いつでも積算数を0に戻すことができます。従って出発前にリセットノブを右へ回し0にしておきますと限られた区間の距離を測ることができます。最下位の目盛りは0.1km単位です。



## タコメータ (回転計)

指針は毎分0~8,000回転までのエンジン回転数を示します。なお、このメータには6,500~7,000回転の部分にイエロゾーンを、7,000~8,000回転の部分にレッドゾーンを設けており、通常運転の場合にはレッドゾーンまで回転を上げることは避けてください。



## 油圧計

エンジンが回転しているときのエンジンオイルの圧力を示します。メータ中央部の目盛りは3 kg/cm<sup>2</sup>を表わしています。アイドリング回転中は1~2.5 kg/cm<sup>2</sup>、一般走行時は3.5~5.0 kg/cm<sup>2</sup>が正常です、圧力が上がらなかつたり、異常な圧力を示したら直ちに走行をやめて油量および油洩れの有無を点検してください。

## 水 温 計

☆いつも適温、長寿のもと☆

エンジンの冷却水の温度を表わし、イグニッション スイッチを入れるとメータが作動します。

目盛の指示範囲は  $50^{\circ}\text{C}$  ~  $120^{\circ}\text{C}$  でエンジンの適温は中央  $80^{\circ}\text{C}$  の目盛付近 ( $70^{\circ}\text{C}$  ~  $90^{\circ}\text{C}$ )

です。水温が右端の白目盛に達したときはエンジンに無理をさせないでください。もし  $120^{\circ}\text{C}$  赤目盛 (オーバーヒート) に達したときは直ちに車を止めてエンジンをアイドリング回転で保ち、別添 “自動車の上手な使い方” オーバヒートの項に従って応急処置をしてください。



## 燃 料 計

☆燃料の補給は早目に、常に余裕をもつて☆

イグニッション スイッチをONに入れたときガソリン タンク内のガソリンの量を示すメータです。目盛りは左側よりE (空)、1/2、F (46ℓ)を表わし、走行中指針がEを指示したときの残量は約4ℓです。燃料の補給はお早目に、常に余裕をもちましょう。使用ガソリンはハイオクタンです。



## メーン ビーム パイロット ランプ

☆すれ違い、市街地走行では

消灯するのがエチケット☆

ヘッド ランプが上向 (4灯点灯) になっているとき点灯します。

対向車があるときや、市街地走行ではデイマスイッチを操作してライトを下向きにして走行しましょう。このときパイロット ランプは消えます。





## イグニッション警告灯

### ☆走行中ランプがついたら要注意☆

イグニッション スイッチをONにするとタコメータ内のこのランプが点灯し、エンジンが始動して充電を始めると消えます。

走行中、ランプが点滅したり、消えない場合はサービス工場へ点検をご用命ください。



## ブレーキ警告灯

### ☆発進前にまず確認☆

イグニッション スイッチをONにしてハンド ブレーキ レバーを引くとこの赤ランプが点灯します。

レバーを戻すとランプが消えます。

発進時にはランプの消灯を確認してください。



### ☆走行中☆

走行中にサイド ブレーキを用いず、ブレーキ ペダルを踏んだ場合、パイロット ランプが点灯しますと、ブレーキ系統に故障がありますので、至急販売店又は、サービス工場にご用命下さい。

## ターンシグナル パイロット ランプ

### ☆後続車に早目にサインを送りましょう☆

右折または左折の合図のでていることをターンシグナル レバーの操作に連動して点滅します。

点滅が早くなつた場合はターンシグナル ランプの電球の断線とされますので点検してください。



## 時 計

時刻の調整は中央のノブを押しながら回し、指針を合わせます。

## 室内各部の取扱い

### シガレット ライタ

押し込みますと約10秒位で元の位置に飛び出します。そのまま抜き取ってご使用ください。使用後は灰を灰皿の中で軽くたたき落してから差し込んでください。なお、夜間使用のときはヒーター コントロール左側のマップ ランプ スイッチを入れると照明されますので差し込みが容易です。



### 灰 皿

—フロント— 水平に引出してご使用ください。取りはずすときは、写真矢印の部分を下方に押し下げながら引抜きます。



—リヤ— 上縁を引張つて開いてご使用ください。取りはずすときは灰皿を持ち上げるようにして下側から抜きとります。





## マップ ランプ スイッチ

このスイッチをONにするとラジオ上部に設けてあるマップ ランプが点灯します。

夜間における灰皿、シガレット ライタの操作、その他の照明にご使用ください。

## フロント シートのスライド調整

すわったままシート スライド レバーを操作し、シートを最も運転しやすい位置に動かし、レバーを離してロックしてください。スライド量は前後 160mm あります。



[SSS クーペ]

## リヤ シート (クーペ仕様)

リヤ シート バック裏側のロック レバーを時計方向へ操作するとロックが解錠し、シート バックが前方に倒れます。なお、このシート バックは裏面もソフト クッションですから、傷つき易いお荷物を置かれるか、またはフロント シートをフル リクライニング (次項参照) させて長時間ドライブ等でお疲れの場合のご休息等にご利用ください。





## シートのリクライニング

調整レバーを上引き、運転しやすい角度に調整してください。

### フル リクライニングの方法

- フロント シートを前方に一杯スライドさせる。
- ヘッド レストを抜き取る。
- リクライニング レバーを上引きシート バックを一杯後方へ倒す。



SSSのフル リクライニング



クーペのフル リクライニング

## ドライバ用 ヘッド レスト

シート バックに差込式で上下に調整して固定できる最も信頼性の高いものです。最良の位置にご調整ください。



最良のドライビングポジション

～急停車されても よい距離 よい速度～



### 後席への乗降（クーベ仕様）

リクライニングレバーを一杯引き上げてシートバックを前方に倒しますとシートも連動して前方にスライドし、乗降が容易に行なえます。



### 前席用シート ベルト

ドライバ用に安全ベルトを設けて走行時の安全を計っておりますので走行前には必ずご着用ください。ベルトは適度のゆるみを取り、調整はつぎの箇所で行なってください。

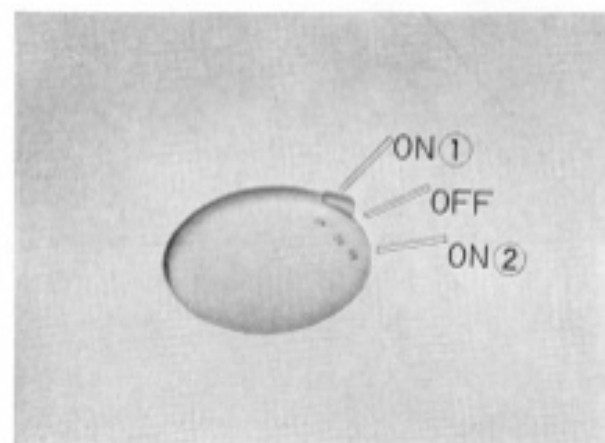
#### 調整箇所

- ① バックル付ベルト：バックル側のベルト末端を伸縮します。
- ② 差込側ベルト：フロア取付部の末端を伸縮します。



### ルーム ランプ スイッチ

- OFF……ドアの開閉に関係なく常時点灯の位置。
- ON ① ……フロント ドアと連動してフロント ドアをあけたときだけ点灯。（ドア連動）
- ON ② ……ドアの開閉とは無関係で常時点灯の位置。（常時点灯）



## ラ ジ オ

取扱操作は、まずアンテナを引き出して、イグニッション スイッチを“ACC”または“ON”にしてください。



### ラジオの操作

#### ① 電源スイッチ、音量調整

右内側のツマミを押すとスイッチが入り、再び押すとスイッチが切れます。  
音量調整は、このツマミを回して行ないます。



② 音質調整 右外側のツマミを回すと高音、低音と音質が変わります。

③ 同 調 左側のツマミを回すことにより、お好みの選局ができます。

④ 押しボタンによる選局 あらかじめセットしておくことにより、ワンタッチでお好みの選局ができます。

選局ボタンのセットは、次の要領で行なってください。



同調「ツマミ」によりセットしようとする局に合せる。



選局ボタンを一杯引き出す。



そのまま選局ボタンを静かに押し込む。

## 換気、暖房



### 換 気

#### センタ ベンチレータ

コントロール パネルのエア コントロール レバーを「ROOM」にし、ブロウ スイッチを「HI」にしますとファン モータが作動し、ヒータ ダクトより足元に外気が圧送されます。

#### サイド ベンチレータ

高速走行時や雨降り等でドア ガラスがあけられない場合にこのベンチレータをご使用ください。操作は下側のノブ（左右）を引き下げると新鮮な外気がノズルから室内にはいつてきます。なお、ノズル（吹出口）の角度を変えることにより、お好みの風向が得られます。

### 暖 房



目的	各レバー、スイッチの位置	サイドベンチレータ	ブロウスイッチ	エアコントロールレバー	温度コントロールレバー
ヒータ（室内の暖房）		閉	ON	ROOM	HEAT
デフロスタ（霜取り）		閉	ON	DEF	HEAT
デミスタ（曇り止め）		開または閉	ON	DEF	OFF-HEAT (夏) (冬)

室内の暖房は次の要領で行ないます。(注：イグニッション スイッチは ON または ACCに入れる)

- ① サイド ベンチレータ ノブを閉じておく。
- ② 温度コントロール レバーを「HEAT」にする。



- ③ ブロワ スイッチを入れる、スイッチは3段階に調整できます。最初に「HI」に入れておくと早く暖まります。



- ④ エア コントロール レバーを「ROOM」の位置にする。



デフロスタ (霜取り) とデミスタ (曇り止め) 「暖房の状態」でエア コントロール レバーを「DEF」位置に移すと、エアはフロントガラスに吹き出し、冬期の霜取りおよび曇り止めができます。

なお、夏期の暑いときはヒート コントロール レバーを「OFF」側にするると冷風により曇り止めができます。



## その他の取扱い

### フードの開き方

フード ロック ハンドルを手前に引くと、フード ロックがはずれ、フード前縁がわずかに浮き上がります。次にフードのセフテイ キャッチを上方に押しながらフードを持ち上げます。



しめるときは、静かに降ろし、上から押して確実にロックしてください。



### 懐中電灯

助手席足元左側に取り付けてあります。この懐中電灯のスイッチは2段切換式で夜間の点検用には白色、非常時の合図用として使用するときには赤色側に操作してください。なお新車時には電池の放電を防ぐために絶縁紙がケースと電池の間に入っていますので、ご使用前には電池押入口のキャップをはずして紙を取ってからご使用ください。

### スペア タイヤ・工具の格納

スペア タイヤ、工具はトランク ルーム内に写真のように格納してあります。



## オプション（注文）部品について

お買上げいただきましたお車を更に豪華な、安全な夢ある車とし、広い用途に応じられますよう豊富なオプション部品を取り揃えております。

お取付けは最寄の販売店にご用命ください。

### ヘッドレスト

安全性の高いヘッドレストが助手席1名分とクーパーを除くSSSには後席2名分が取り付けられます。



### シートベルト

前席は肩からもかけられる3点式が装着でき、後席は中央が2点式ですが、左右は2点式あるいは3点式の2種類が用意してあります。



### 強力ベンチレータ

ヒータのファンを利用した強力ベンチレータで、空気の吹出口を取付けるだけで、市街地のノロノロ運転や雨で窓の開けられないときでも快適な運転を楽しめます。





## カー クーラ

ダッシュユ タイプ室内循環式の強力クーラが  
取付けられます。

## ラジアル タイヤ

165 S R13を取付けられます。空気圧は常時、  
2.0 kg/cm<sup>2</sup> で車速による調整は不要です。

### ☆クーペ用オプション部品☆

- ・黒塗りラジエータ グリル及びグリル組込み沃素ランプ



なお、フオグ ランプには角型のバンパ取付式もあります。



- ・レザー ルーフ

ご愛用車が簡性的になります。

～安全は無理をせぬよう マイペース～





• アクセント ストライプ

粋に乗ってください。



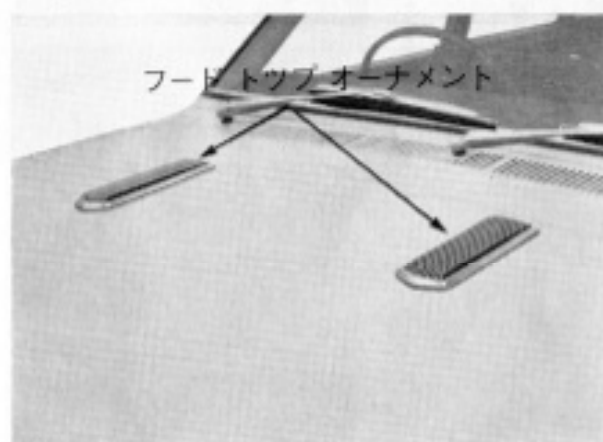
• スポーツ タイプ ホイール カバーおよび  
高速タイヤ

ラジアル タイヤの他に 5.60S-13<sup>7</sup>の高速タイヤが用意してあります。



• フード トップ オーナメント

精悍なクーペになります。



• 黒塗リスポーツ タイプ バック ミラー

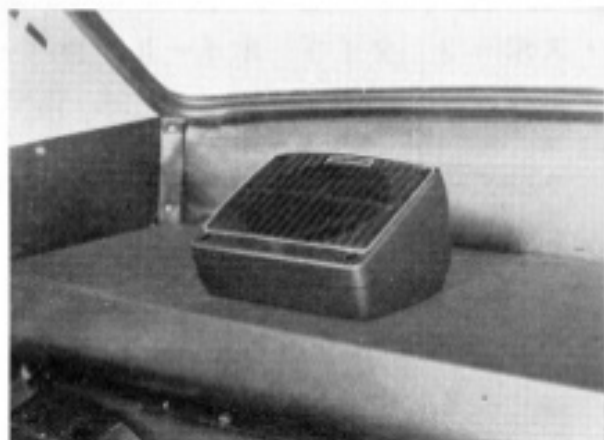




・レーシング ストライプ

ご愛用車にも如何ですか。

・カー ステレオ



・バンパ ラバー



・シークエンシャル ランプ (流動点滅方向指示灯)

ターン シグナル スイッチを操作すると、テール ランプが内側から外側に流れるように点滅し、右折または左折の合図をします。

## 新車時の運転

新車時の取扱い方で、車の寿命と性能は大きく左右されます。最初の3,000km 走行までは次の事柄を守りましょう。

- ① 1,000km および 3,000km の新車サービス点検を必ず受けてください。
- ② 走行前には必ずウォーム アップ（暖機運転をしてください）。
- ③ エンジンのからぶかしはやめましょう。
- ④ 低速走行や登坂のときは、早目にギヤを減速し、余裕をもって走行してください。
- ⑤ エンジンの最高回転は3,600 rpm 程度でお使いください。（瞬間的な回転上昇3,600 rpm 以上は止むを得ませんが連続使用はさげましょう。）



各ギヤの速度範囲は次のようにしてください。

ギヤ位置	1 st	2 nd	3 rd	4 th
速度	25 km/h	15~45 km/h	25~70 km/h	40~100 km/h

## 日常の運転速度

エンジンの経済的でねばりのある回転範囲は2,200~5,300 rpm です。

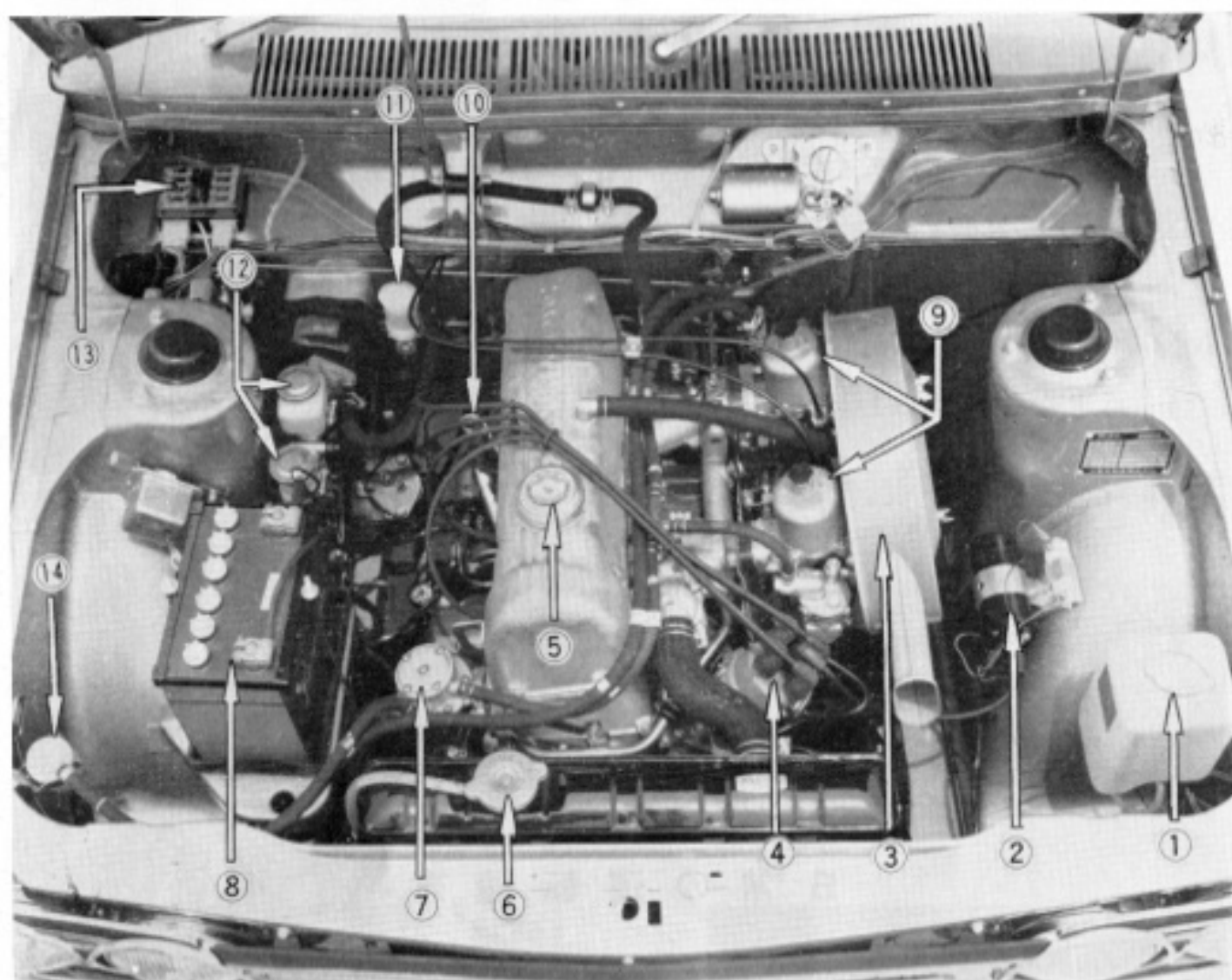
普通走行の場合は次の範囲でお使いください。

ギヤ位置	1 st	2 nd	3 rd	4 th
速度範囲	15~40 km/h	30~65 km/h	45~105 km/h	65~145 km/h

増速の場合は、この数値内でオーバーラップしている部分で行なえば円滑に変速できます。減速（シフト ダウン）の場合は6,000 rpm 以上あげないように注意してください。（短時間なら支障はありません）



## エンジン ルーム各部の名称



- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| ① ウインドウ ウオツシヤ タンク | ⑧ バツテリ               |
| ② イグニツション コイル     | ⑨ カーブレータ             |
| ③ エア クリーナ         | ⑩ オイル レベル ゲージ        |
| ④ デイストリビュータ       | ⑪ クラツチ マスタ シリンダ      |
| ⑤ エンジン オイル注入口     | ⑫ タンデム ブレーキ マスタ シリンダ |
| ⑥ ラジエータ キャツプ      | ⑬ ヒューズ ブロック          |
| ⑦ フユエル ポンプ        | ⑭ フユエル ストレーナ         |

# 日 常 点 検

## ——おでかけ前の点検——

いつも快適に安全に走行していただくため、日常次の点検を行なってください。

### エンジン オイル

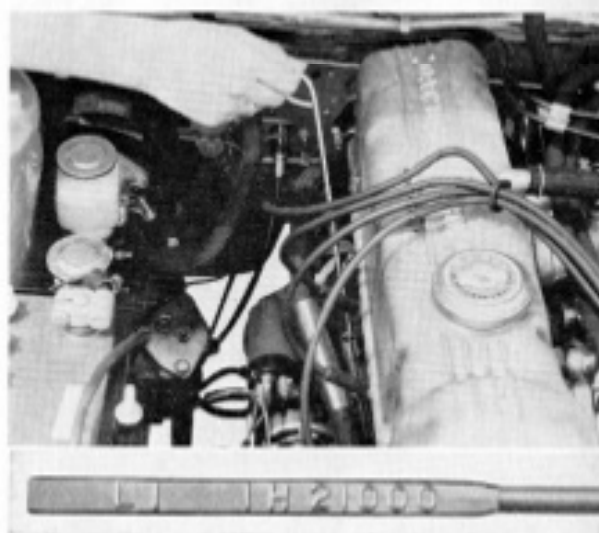
★エンジン オイルの不足はエンジン故障の原因となりますので、ご使用前に必ず点検しましょう。



レベルゲージを抜いて、オイルを布切れで拭き取り、一杯に差し込み再び抜いて、濡れている位置を確認します。

〔注意〕 点検は、エンジン停止後約5分位たつてから行なってください。

オイルは常にH線を保つよう心がけましょう。



#### アイドリング調整について

アイドリング調整は大気汚染に大きく影響しますので、調整の必要が生じた場合は、必ず日産の販売店サービス工場にご用命ください。



ラジエータ キャップをはずし、冷却水量を確認してください。

〔注意〕 走行直後、急にキャップを取ると熱湯が吹き出し危険です。

しばらく冷却してから点検してください。

～さあ出発だ 車の点検 今一度～

## ブレーキ液、クラッチ液

★ブレーキ液の不足は事故の原因となります。  
ご使用前には必ず点検しましょう。



リザーバ タンクの外から液面を透視し、点検してください。なるべく上のレベル線を保つよう、クラッチ、ブレーキとも日産純正ブレーキ液を補充してください。

〔注意〕 減量のはなはだしいときはサービス工場へ。

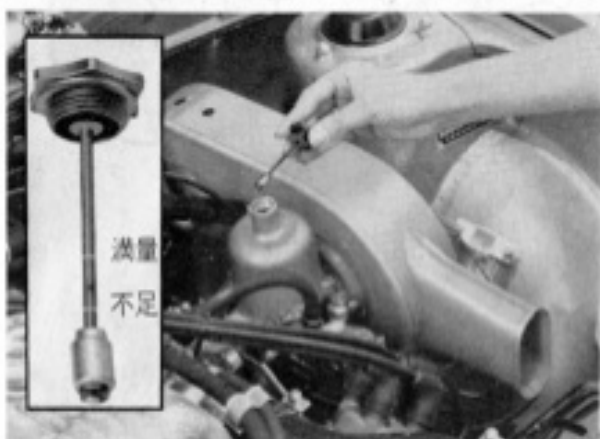


～今一度 車の点検 心の整備～



## バッテリー液

キャップを取り液量を点検してください。  
不足している場合は、蒸溜水を補給します。  
又、ターミナルが腐蝕すると接触不良になりますから、時々熱湯で洗浄し、グリースを塗布してください。



## 気化器のダンパ オイル

カーブレータ頭部の六角ナットを弛めると、  
ブランチヤ ロッドが抜きとれます。  
オイル量の測定は、ブランチヤ ロッドを一度完全にしめ込んだ後抜きとり、2本の溝の間にあれば規定量です。

使用オイル SAE # 20



## タイヤの空気圧

走行前に各タイヤの空気圧を確認しましょう。  
パンクしたタイヤや、空気圧の少ないタイヤでの走行はタイヤを損傷するだけでなく、危険です。



## タイヤ 空気 圧

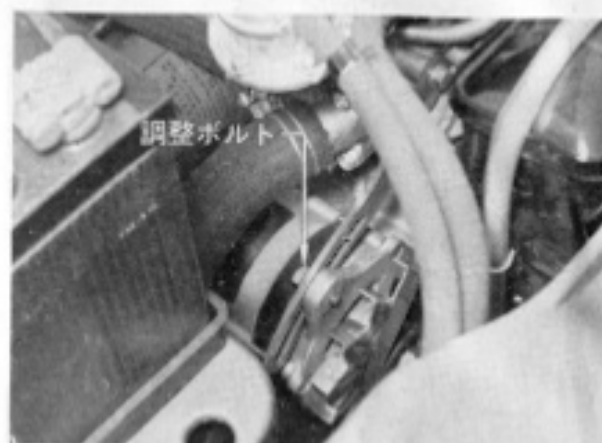
( ) 内はオプション仕用

タイヤ サイズ	車速 (km/h)	普通走行 (100未満)	高 速 走 行
5.60-13-4P R (5.60S-13)		1.6	2.0
(165SR13 ラジアル)		2.0	



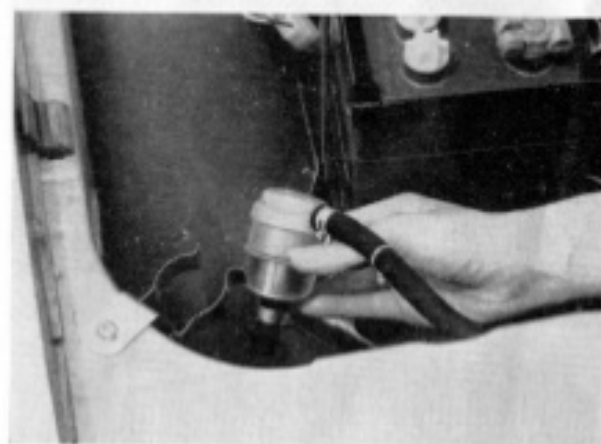
## ファン ベルトの点検

ベルトの張り、傷、亀裂を点検してください。張り過ぎは、ベルト、オルタネータ、ウォーターポンプ等を傷め、弱すぎは、オーバーヒート、充電不足、ベルトの傷等を招きます。調整はオルタネータの取付ボルト及び調整ボルトを弛め、適正の張りの所でセットします。



## フュエル ストレーナ

清掃の必要はありません。水及びごみが著しく溜つた場合は、交換し、燃料系統を点検してください。



## ランプ類の点検

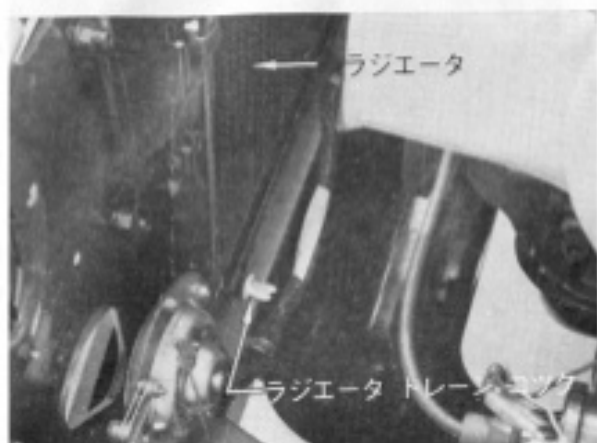
各ランプ類の作動を点検してください。ランプの切れは、気がつかないもの、知らずに走行することは非常に危険です。

## ヒューズの交換

ヒューズボックスは、エンジンルーム右後方にあります。各ヒューズの容量はカバーに表示してあります。



## 給油、給水



### 冷却水

給水はラジエータ キャップより行ないます。  
冷却水を抜くときは、ラジエータの下側にあるドレーン コックを弛めて行ないます。

〔注意〕 冬期は必ず不凍液をご使用ください。  
なお、冷却水には不凍液LLC（ロング ライフ クーラント）を使用していただくと、冷却水は2年間交換の必要はありません。



### ブレーキ、クラッチ液

キャップをとり、それぞれ上のレベル線まで純正ブレーキ液を補充します。



### エンジン オイル

オイルを排出するときは、必ずエンジン  
を回転してエンジンの暖いうちにオイル パン  
のドレーン プラグを取りはずして行ないま  
す。

給油はオイル フィラ キャップより純正エ  
ンジン オイルを規定量注入します。

～車の機能は完全に 車の運転は安全に～

## タイヤの交換

タイヤの交換は、交通の妨害にならない場所で、赤旗や、ランプなどで標示して次の順序で行ないます。

- ① トランクからツール バッグ、ジャッキおよびハンドル、輪止め、スペア タイヤ等を取り出す。



ジャッキ、輪止めは、ジャッキハンドル差込部を左にまわし、取りはずします。



タイヤは、クランク プレートをはがして取り出します。

- ② 輪止めをする。

前のタイヤを交換するときは後輪に、後のタイヤを交換するときは前輪に、輪止めをします。



- ③ ホイール カバーを取りはずす。





- ④ ホイール ナット レンチで、各ナットを  
弛めておく。  
ナットは左方に回すと弛みます。

- ⑤ 車をジャッキ アップする。

ジャッキ アップ ポイントはボデー下面前後4個所。

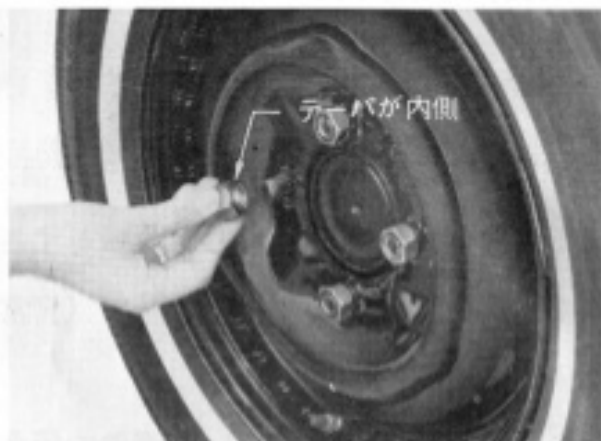


- ⑥ ホイール ナットを取りタイヤを取りはずす。

～こわいのは なれすぎ 積みすぎ 飛ばしすぎ～

- ⑦ タイヤを交換し、ホイール ナットを仮締めする。

- 〔注意〕 ① ナットの方向（テーパー側が中側へ）に注意。  
② ナットが取付穴の中心になること。



- ⑧ ジャッキをおろし、ナットを番号順に本締めする。

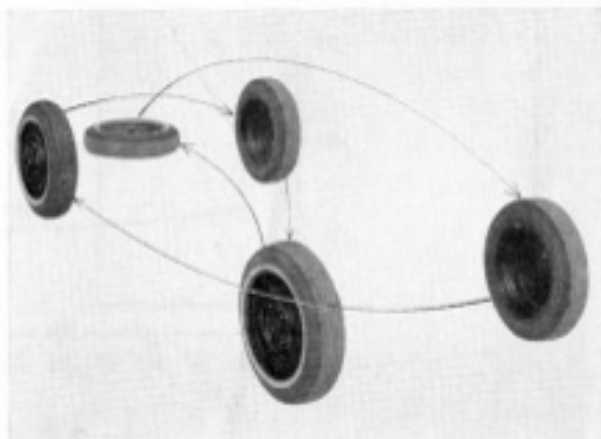


- ⑨ ホイール カバーを取りつける。  
このとき、エアバルブ穴に注意してください。



### タイヤの交換

タイヤの交換は、10,000km 走行毎に図の順序で行なってください。



# 上手な運転法

車を早く走らせることが上手な運転ではなく、道路や車の走行条件に従って臨機応変に、また常に余裕を持って正しい運転をすることが大切です。

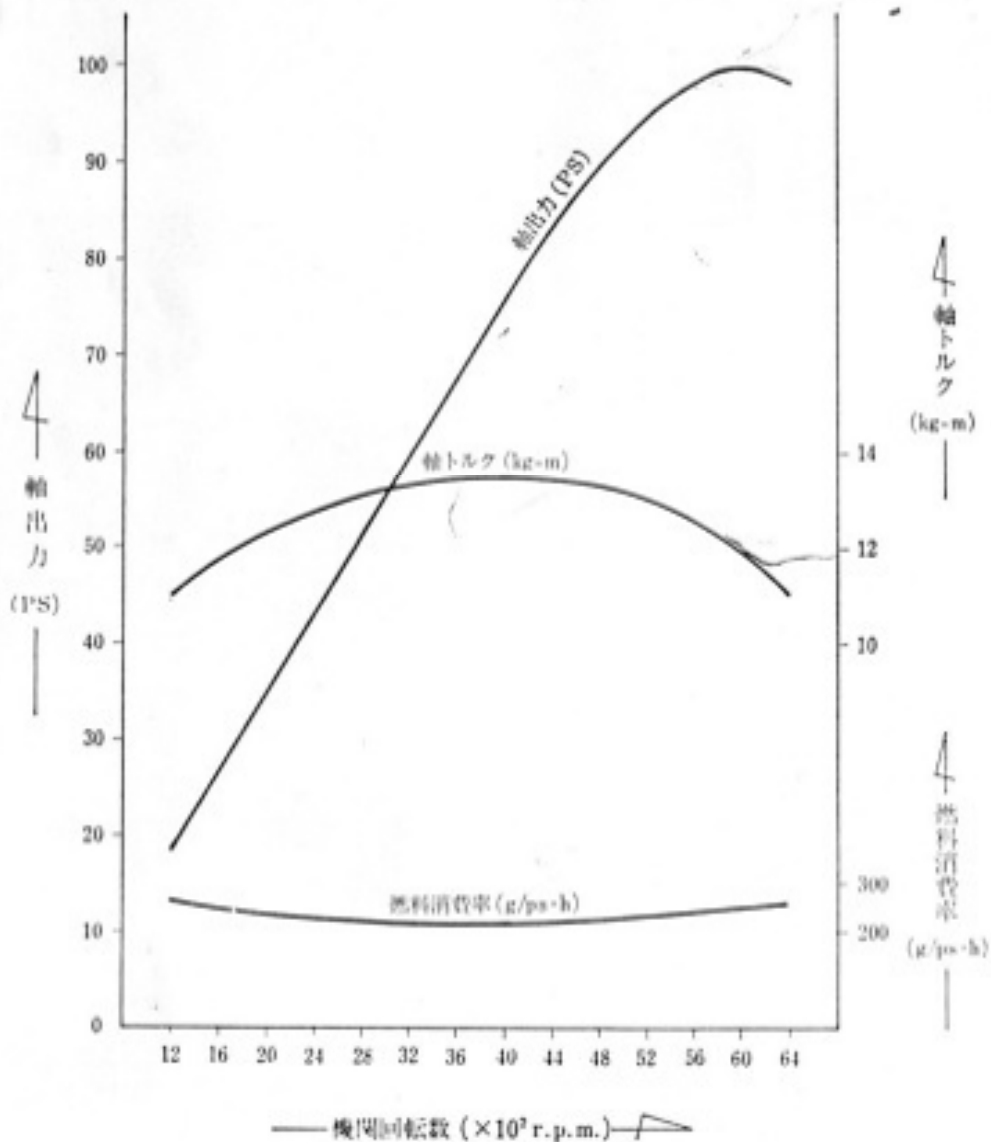
車の調子を常に最高の状態に保ち（日常および定期点検の実施）、しかも車の性能に合った使い方が必要です。

次にSSS車の性能について簡単に紹介致しますので、ご利用ください。

（ご承知かと思いますが、性能曲線の見方について簡単にご説明します。）

## 1. エンジン性能曲線

L16型 機関性能曲線



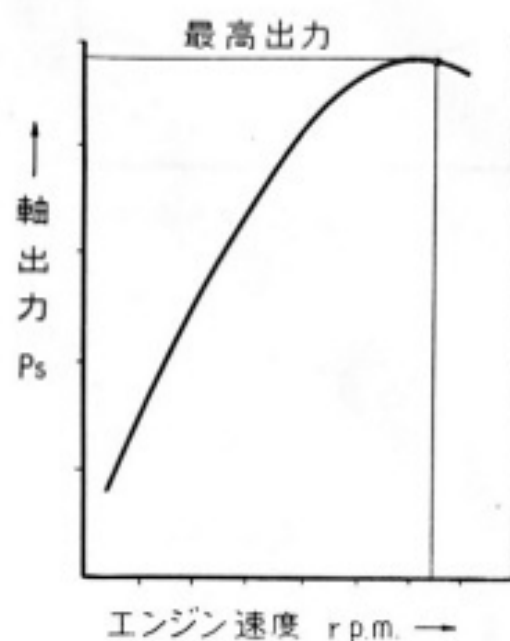
## エンジン性能曲線の見方

前図はこの車に使用しているL16型エンジンの性能曲線です。横軸に回転数、縦軸左側に軸出力、右側に軸トルクと燃料消費率の目盛が刻んであります。

このように、各回転数あたりの軸出力、軸トルク、燃料消費率を表わしたものをエンジン性能曲線と呼んでいます。

## 軸出力

エンジンのクランク軸と動力計とを接続して測定するので、軸出力（軸馬力）といいますが、正味馬力ともいいます。右図のように、最高の点の値を最高出力と呼び、カタログ等に出ている数値はこの点を表わしています。このL16型エンジンは100ps/6,000rpm、単位は日本ではPS（独語でPferde Starke、馬力）を用いております。馬力は自動車の速度と自動車を動かすに必要な力かけたもので、スポーツカー等、高速を望む車両では当然高くなりますし、トラック等のように車両総重量が重いものは速度は遅くても大きな馬力を必要とします。

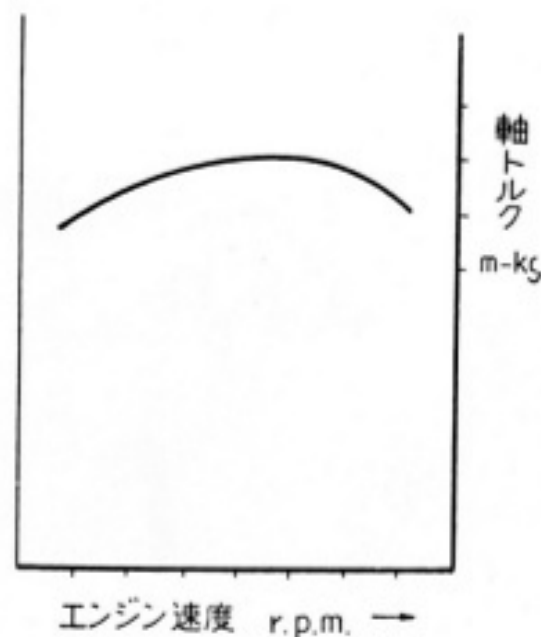


## 軸トルク

トルクというのは回転力のことで、自動車ではエンジンの燃焼ガスが爆発してクランク軸を回転させようとする回転力が即ち軸トルクで、この力の強さを時間に関係なく示したもので一般にkg-mで表わします。

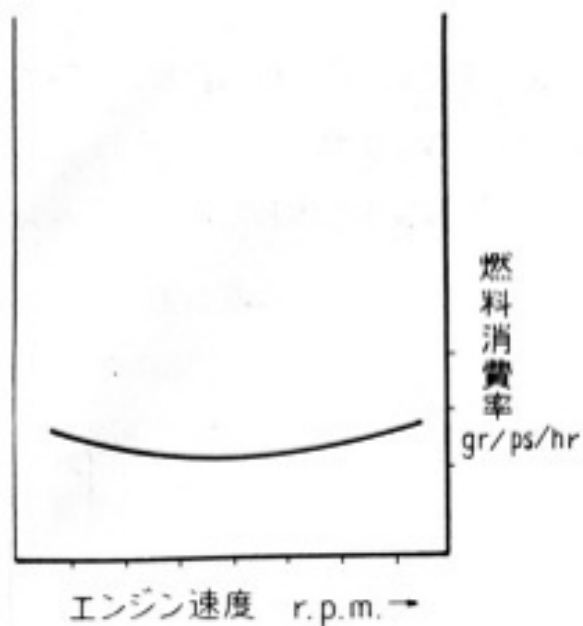
加速性能や登坂性能の良否はこのトルクに左右されます。つまりトルク特性がよいといわれるものは広い回転数の範囲で平均した高いトルクをもっているものをいいます。

このL16型エンジンは4,000rpm、13.5kg-mをピークに2,800~5,200rpmまで13kg-m以上という高トルクを示しており、文字通り低速から高速まで素晴らしい性能を持っていることが図のグラフより読みとれます。



## 燃料消費率

普通燃料消費率は、1ℓあたりの走行距離数で表わしたいわゆる定地燃費ですが、エンジン単体の場合は1時間1馬力当りの消費量をgrで表わしております。全体にフラットでその数値が低いほど、燃料消費が少なく経済的なエンジンであることはいうまでもありません。



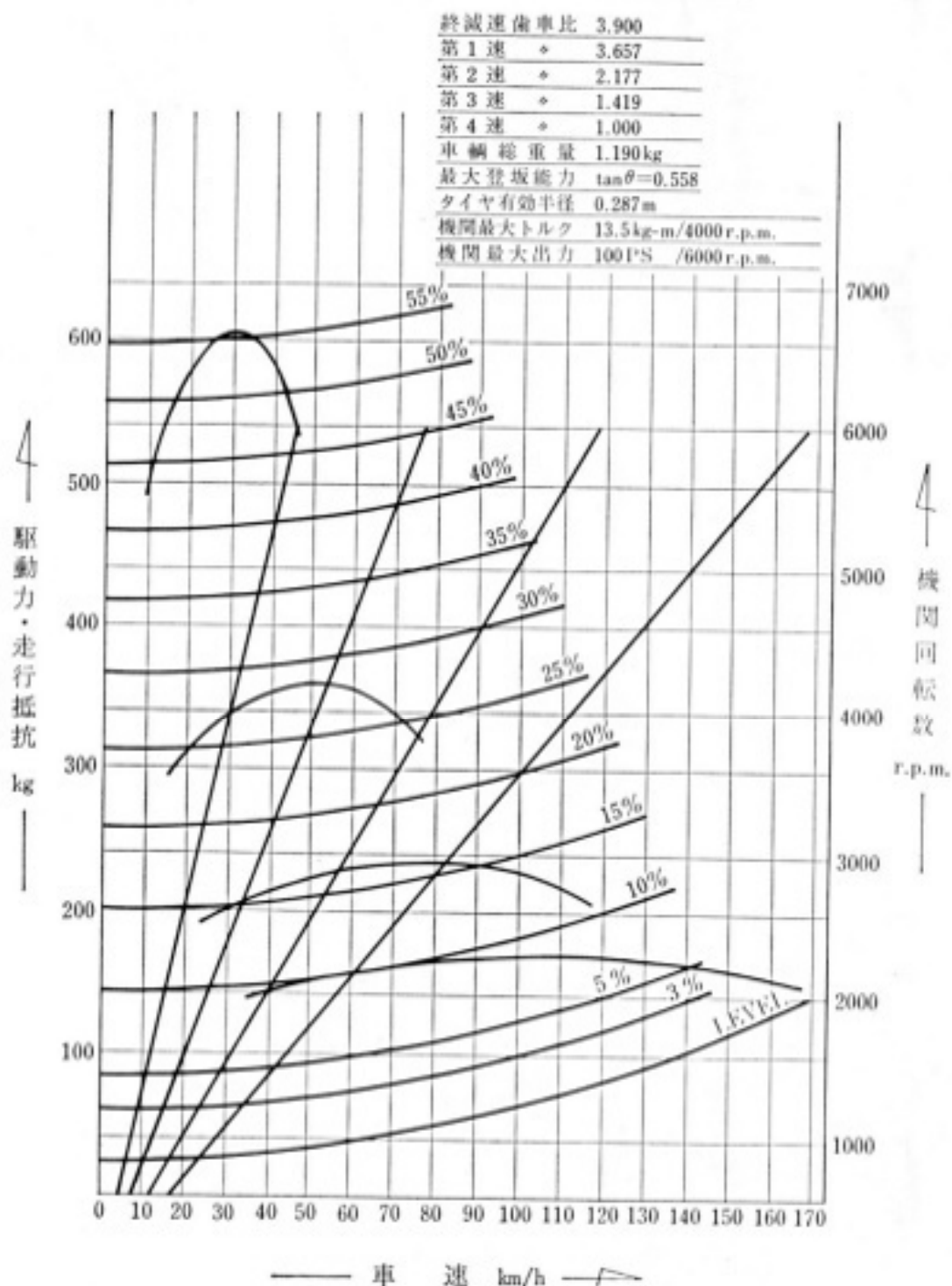
～手をあげる子供は あなたを信じてる～



## 2. 走行性能曲線

前項のエンジン性能曲線と走行抵抗、駆動力等を、同一の図に表わした動力性能線図を走行性能曲線といいます。この線図から、その車の最高速度に始まり、各ギヤの制限速度、登坂能力、経済速度等を簡単に知ることができます。

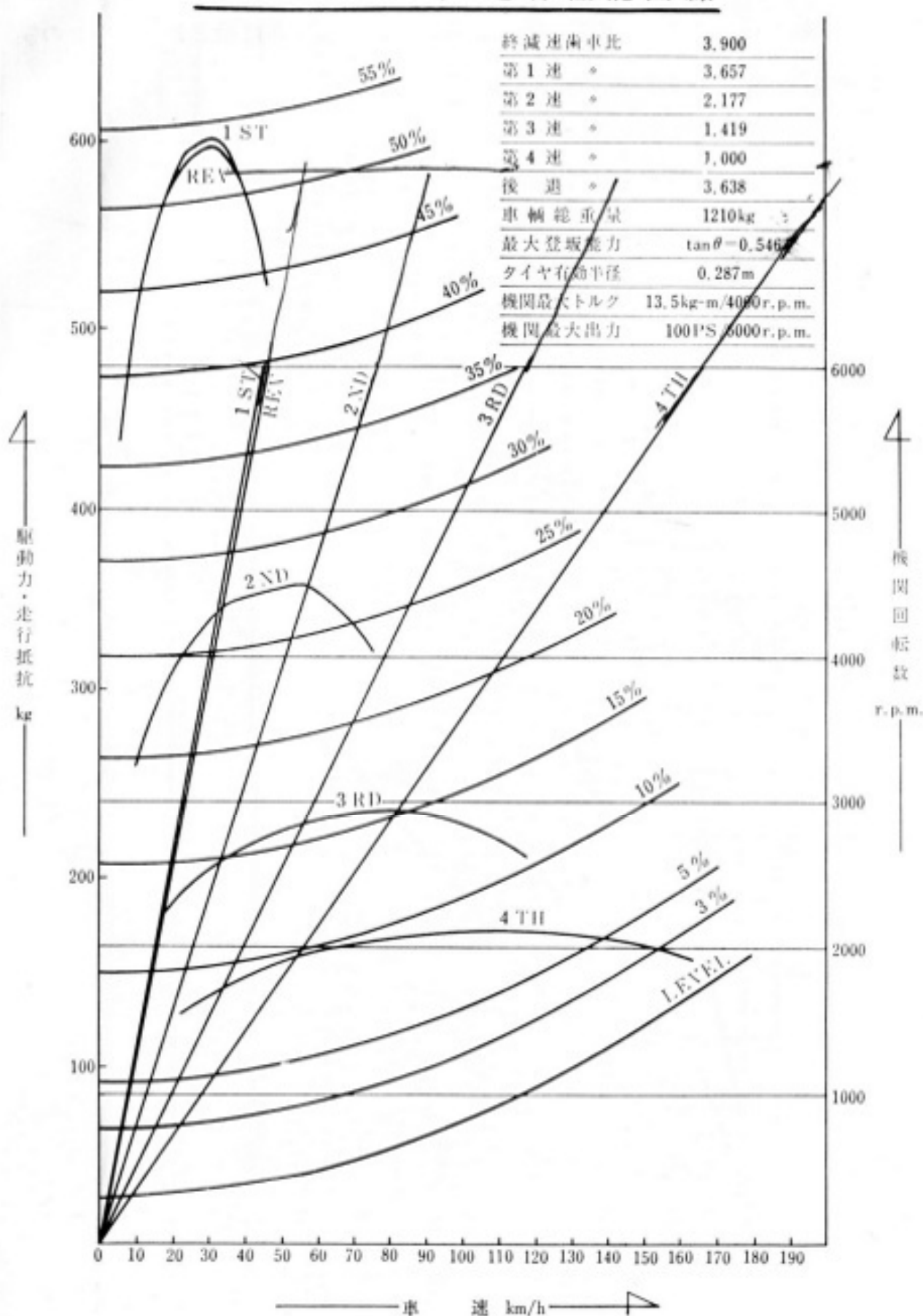
### P510(DTK)型車 走行性能曲線



# 走行性能曲線

〔SSS クーペ〕

## KP510 DTK 車 走行性能曲線



## 走行性能曲線の見方

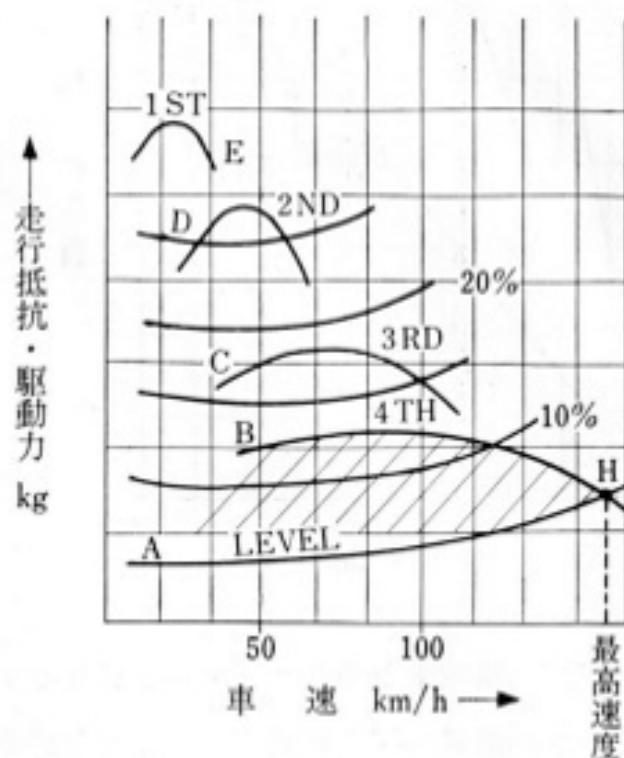
### 走行抵抗および駆動力と車速

右図においてA線は各速度における平坦路（勾配 0°）走行抵抗を表わしております。これは各車によつて（形状、構造等）値は違つてきますが、ブルーバード SSSは、前項の如き曲線を持つて、おります。これに対してB線は4速における駆動力を表わしており、この線で囲まれた部分を余裕駆動力といい、この余裕駆動力が加速、登坂または悪路になつたとき等の力として使われます。

同様にC線、D線は夫々サード（3rd）、セカンド（2nd）等の駆動力であります。また、トップ（4th）の場合、駆動力と走行抵抗A線が交つたH点が最高速度の点となります。

このA線と平行にひいた10%、20%……線に各勾配における走行抵抗を表わしております。これにより各ギヤの駆動力の他に登坂能力を知ることができます。

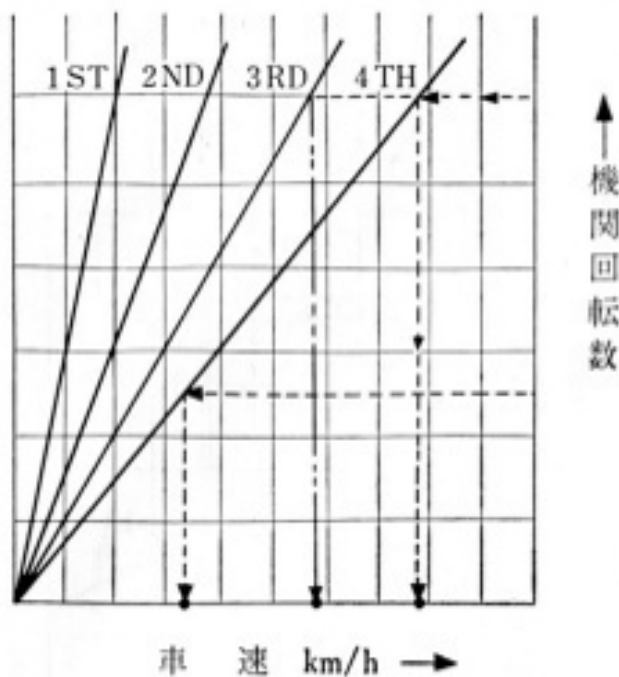
この%は  $\tan \theta$  の値を示しております。例えば前項のSSS車のセカンド（2nd）の駆動力は約360kg 登坂能力としては  $\tan \theta$  約28%、即ち  $16^\circ$  の勾配までは登れるということを表わしており、このときの車速は約55km/h だといえます。



～ハンドルはしっかり

心はゆったり～





## エンジン回転数と車速について

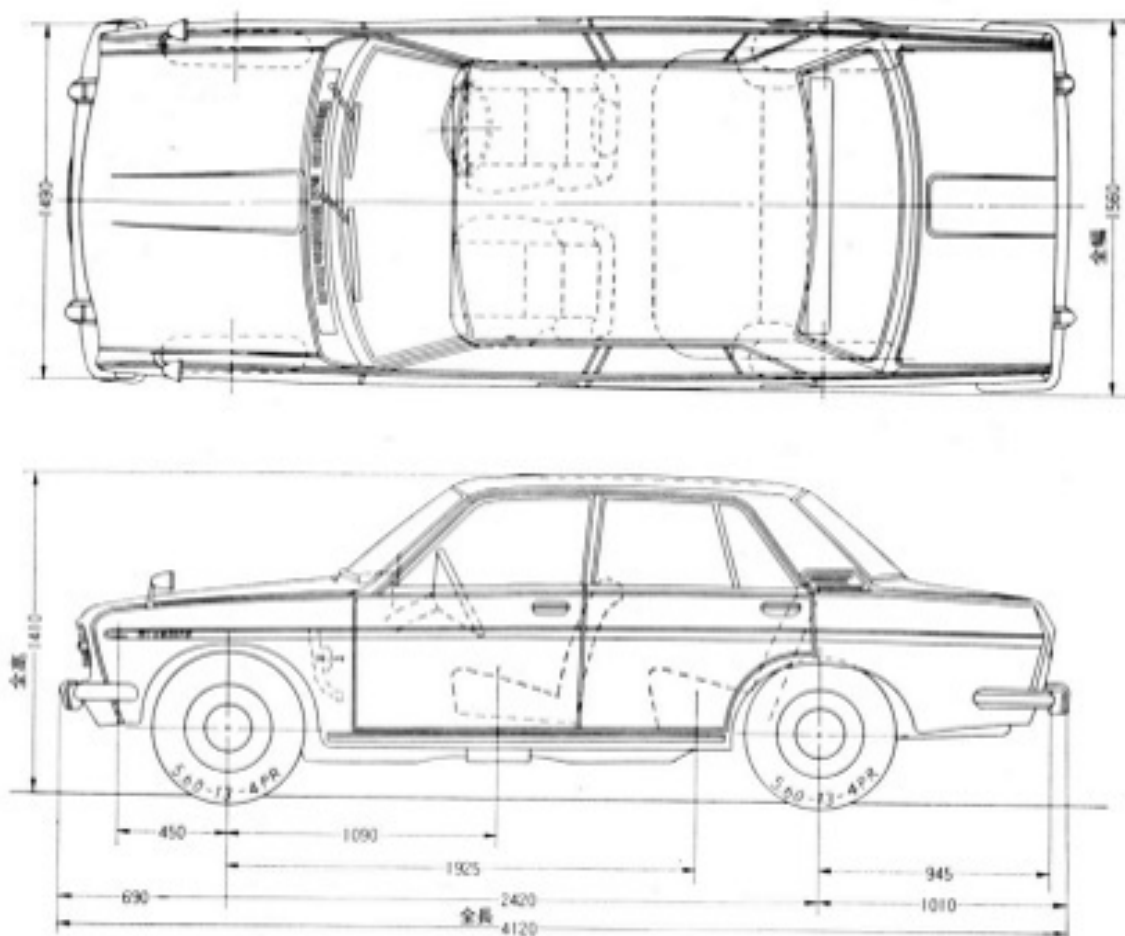
右図はエンジン回転数と各ギヤの速度の関係を表わしたもので、縦軸にエンジン回転、横軸に車速をとつてあります。各ギヤの最高速度はエンジンの最高回転の線と各ギヤの線が交わつた点を図の点線のようにおろしてきて読みます。

前項のSSS車のグラフを例にとると、トップ(4th)が約165km/h、サード(3rd)が115km/h、セカンド(2nd)で75km/h、ファースト(1st)で45km/hと読めます。

実際に運転する場合は、その車が各ギヤで何km/hまで引張れるか、或いはシフトダウンの限界の速度を簡単に知ることができます。また、一番経済的な運転を望む場合エンジンの最大トルク付近の回転数をひろい(エンジン性能曲線より)このグラフにあてはめて読めば使い易く、また、経済的な速度がわかります。



～疲れたら ちょっと一息 深呼吸～



車 両 型 式 P510D T K (ダツトサン ブルーバード S S S)

車 両 寸 法

全	長	4,120 mm
全	巾	1,560 mm
全	高	1,410 mm
ホイールベース		2,420 mm
トレッド(前)		1,270 mm
” (後)		1,280 mm

客室内側寸法

全	長	1,725 mm
全	巾	1,270 mm
全	高	1,130 mm

重 量

車 両 重 量	930 kg
乗 車 定 員	5 人
車 両 総 重 量	1,205 kg

性 能

最 高 速 度	165km/h
登 坂 能 力	Sin $\theta$ 0.481
最 小 回 転 半 径	4.8m
総 排 気 量	1,595cc
最 大 出 力	100ps/6,000 rpm
最 大 ト ル ク	13.5 kg-m/4,000

タ イ ヤ

タイヤ サイズ	
(前)	5.60-13-4P R
(後)	5.60-13-4P R

# 明 細 諸 元

## エ ン ジ ン

型	式	L16
内 径 × 行 程	mm	83×73.7
総 排 気 量	cc	1,595
圧 縮 比		9.5
最 高 出 力	PS / rpm	130/7,000
最 大 ト ル ク	kg-m / rpm	13.5/4,000

## 点 火 装 置

点 火 順 序		1-3-4-2
点 火 時 期	BTDC / rpm	14°/650
点 火 プ ラ グ 型 式		BP-6E (NGK), L46P (HITACHI)
火 花 間 隙	mm	0.8~0.9

## バ ッ テ リ

型	式	NS40Z
電 圧 ・ 容 量	V-A-H	12-35-20

## ト ラ ン ス ミ ッ シ ョ ン

型	式	前進4段、後退1段 (前進オールシンクロメツシユ式)
操 作 方 式		フロア シフト
変 速 比	第 1 速	3.657
"	第 2 速	2.177
"	第 3 速	1.419
"	第 4 速	1.000
"	後 退	3.638

## 後 車 軸

減 速 比		3.90
-------	--	------

駆 動 方 式

ハイポイド ギヤ

カジ取り装置

操 向 角 度 (内) 度

38°

" (外) 度

32°30'

ハ ン ド ル 径 mm

405

ブレーキ装置

型 式 (足踏) 前

ディスク式

" ( " ) 後

リーディング トレーリング式

" (手動)

機械式後2輪

M E M O

---

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

---

# 点 検 調 整 値

## エ ン ジ ン

シリンダ圧縮圧力 (スタータ回転 350 rpm).....	12 kg/cm <sup>2</sup>
カム クリアランス (吸排、温時).....	0.25、0.30 (カムスキマで)
ファン ベルトのたわみ.....	10 mm

## 電 気 装 置

点 火 順 序.....	1—3—4—2
点 火 時 期.....	14°/650 rpm
デイストリビ्यूタのポイント ギヤツブ.....	0.45~0.55 mm
スパーク プラグの間隙.....	0.8~0.9 mm

## シ ャ シ 関 係

ステアリング ホイールの遊び.....	25 mm
ト ー イ ン.....	2~-1 mm
キ ャ ン バ.....	2°
キ ャ ス タ.....	1°40'
ブレーキ ペダルの遊び.....	15~25 mm
ブレーキを充分踏み下げたときのペダル高さ.....	床面から30 mm 以上
クラッチ ペダルの遊び.....	10~20 mm

## タイヤの空気圧

空気圧 (前後共).....	1.6 kg/cm <sup>2</sup> (普通走行 100km/h 未満)
	2.0 kg/cm <sup>2</sup> (高速走行)

## 各 部 の 容 量

ガソリン タンク.....	46 ℓ
冷 却 水.....	6.8 ℓ
オイル パン.....	4.0 ℓ
オイル フィルタ.....	0.63 ℓ
トランスミツション.....	2.2 ℓ
デフ ギヤ ボックス.....	0.93 ℓ
ステアリング ギヤ ボックス.....	0.3 ℓ





～安全は あなたがつくる みんなの願い～

発行 昭和44年10月

不許複製

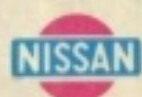
日産自動車株式会社

サービス部技術資料課

東京都中央区銀座6-17-1

「本記載事項は予告なく変更することがあります。」

(1-90908)



日産自動車株式会社